

平成 2 4 年行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		外部専門機関の整備・育成等事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部			作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度		平成 2 3 年度開始		担当課室	労働衛生課			椎葉 茂樹		
会計区分		労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ－2－2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する					
根拠法令 （具体的な条項も記載）		労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		メンタルヘルスの問題等、産業医の扱う分野が多様化してきた中にあるのは、産業医の個人的な知識や能力に依存した従来の産業保健活動から、多様な分野の専門職で構成される事業場外組織（外部専門機関）による産業保健活動に転換していく必要がある。本事業では、外部専門機関創設に向けた支援を行う。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）		外部専門創設に向けた支援として、調査事業及び研修事業を実施。研修事業においては、必要な人員等、医療機関等が外部専門機関として業務を開始する際及び運営に当たり必要な事項についてのマニュアル作成を含む。								
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 （単位：百万円）				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		予算の状況	当初予算			8.7	19	15		
			補正予算							
			繰越し等							
			計			8.7	19	15		
		執行額				2.3				
		執行率（％）				27				
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 （ 24年度）
		研修事業の参加者に対し、研修内容等についてアンケートを実施し、7割以上の参加者から「有意義であった」等、ニーズに合致した研修であった旨の回答を得る。	成果実績	割	—	—	8割以上	7割以上		
			達成度	％	—	—	114.3%			
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		外部専門機関の養成のための研修会を仕様書に定める回数以上行う。	活動実績 （当初見込み）	回	—	—	1回	—		
					—	—	(1回)	—		
単位当たりコスト		363,085(円／回)			算出根拠	単位当たりコスト＝研修会に係る支出予定額／研修会の実施回数 研修会に係る支出予定額 研修会の実施回数				
平成 2 4 ・ 2 5 年度予算内訳	費 目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	庁費		2.1	1.3	事業実施項目の組替による減					
	事業費		14.4	11.6						
	管理費		1.4	1.2						
	消費税		0.8	0.6						
計		18.7	14.7							

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		・労働環境や労働者の健康問題の多様化、複雑化に対応するためには、多様な専門職による産業保健活動支援を整備することの必要性が高まっており、こうした産業保健サービスを提供できる外部専門機関を整備することは重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		・労働安全衛生法第71条に基づき、労働者の健康の保持増進に関する措置の適切かつ有効な実施を図るための必要な援助として、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		・最低価格入札で委託先を決定し、さらに委託先での事業実施が効率的に実施されたため、不用率が大きくなった。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		・一般競争契約（最低価格入札）としており、競争性は確保されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		・委員会の開催を地方から出席する委員の東京出張時に開催するよう調整する等により、旅費のコスト削減を図った。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		・当事業は、労働者の作業関連疾患等の疾病労災を予防するために、産業保健サービスの提供体制を整備・育成を行うものであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出することは妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		・委託費は、事例集作成のためのヒアリングや委員会の開催のための旅費や謝金が、適切な費目に対する支出である。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		・事例集の作成を踏まえ、研修会を開催し、関係者に広く周知した。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		・初年度のため経年的な評価はできないが、成果目標は、事業の質を問うものであり妥当であるとともに、成果は、目標達成している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		・活動実績は、見込みを達成している。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		—
		※類似事業名とその所管部局・府省名	—	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		・ヒアリング結果から作成された事例集は、関係機関に対する研修において活用された。	
点検結果	労働者の健康障害を予防するために、外部専門機関による産業保健活動の推進は有効であるが、外部専門機関として産業保健活動を行うにあたり、一定の準備期間を必要とする場合も多いことから、短期的に事業効果を把握することは困難である。しかし、平成23年度の本事業実績については、医療機関等に対するヒアリングを踏まえて事例集を作成し、外部専門機関として事業を行う可能性のある医療機関等に対し研修を行い、事業の成果を周知しており、事業は適切に実施されている。			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善		外部専門機関の整備・育成等事業については、執行実績を踏まえ、予算の縮減を図ること。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減		執行実績を踏まえた要求を行い、予算の縮減を図った。		
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
該当無し。				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	—		平成23年行政事業レビュー	0044

※平成23年度実績を記入

外部専門機関の整備・育成等事業

厚生労働省
2百万円(平成23年度精算額)

事業管理、受託者への指導



【一般競争契約(最低価格落札方式)】

株式会社 メディカルトラスト
2百万円(平成23年度精算額)

外部専門機関事例集の作成、研修会の開催等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A. 株式会社メディカルトラスト			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
管理費	事業運営人件費	1.2			
会議費	実施委員会、研修会開催	0.4			
旅費・宿泊費	実施委員会及びヒアリング調査	0.3			
印刷費	事例集作成	0.2			
会場費	実施委員会、研修会開催	0.2			
通信費	研修会開催案内	0.1			
消費税	消費税(上記品目は消費税込み)	-0.1			
計		1.1	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社メディカルトラスト	外部専門機関事例集の作成、研修会の開催等を実施。	2.3	4	70%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					